

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	1896	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 保育施設の充実 個別事業 根戸保育園移転・解体事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	子ども部・保育課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	■我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市							
	⑤事業期間	平成24年度 ~ 平成26年度		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.15人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 1,628千円 (うち人件費 1,395千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市保育園整備計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	多様な保育ニーズに対応するため、保育園や学童保育室をはじめとした保育サービスの供給体制の強化と質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てを共に支える体制を整備します。			事業目的	子どもが安全かつ健やかに育つ質の高い保育環境の整備を実施する。					
(3) 事業内容	内容	平成21年度の耐震診断の結果、耐震補強又は建替が必要になった。当保育園はリース園であることから、この診断結果を踏まえ地権者と協議した結果、地権者により当保育園の園内に新たな園舎を平成24年度内に完成する予定であったが、地権者の都合上、建設が遅れるため、平成25年度中に完成し、当年度に開園を目指すこととなった。そのため、新たな賃借料の契約や移転、旧園舎解体の業務を実施する。また平成26年度の園庭等の外構工事完了後は運動用具等を収納する倉庫や遊具を設置する。			当該年度執行計画	運動用具等を収納する倉庫を設置する。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	%	想定値	100	
当該(開始)年度	平成26年度に倉庫の設置を行う。	達成目標(期待する成果)			直接	倉庫設置工事の進捗率	%	(5) 現況値	0	(6) 目標値	100
3年後					-		%		0	0	
最終(概ね5年後)					-		%		0	0	
(7) 事業実施上の課題と対応	地権者の都合により、園舎建設が遅れることとなったため、早期建設に向けて地権者と協議・調整を行う。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	保育園賃借料	5,334	*	保育園倉庫設置工事費	233				
		*	保育園園舎解体工事費	7,148							
		*	保育園引越業務委託料	375							
		*	保育園備品購入費	3,904							
		*	保育園ロッカー設置工事費	1,280							
		*	保育園給食調理器具移設工事費	1,197							
		*	給食外部委託料	143							
		*	保育園警備機器設置工事費	127							
*	保育園エレベータ保守点検委託料	154									
予算(済)額	合計	19,662	合計	233	合計	0	合計	0			
(9) 財源内訳	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%			
一般財源	19,662		233								
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.27		0.15							
正職員人件費		2,511		1,395							
嘱託職員報酬額		0		0							
臨時職員賃金額		0		0							
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		22,173		1,628							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		221.73千円/%		16.28千円/%							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	・待機児童ゼロ及び質の高い保育環境を提供するためには、保育園施設の整備は不可欠である。この数年で、私立保育園の改修や新設により、公立保育園の施設の充実がますます求められている。 ・子どもたちが健やかに育つため、安全でより良い保育環境の整備が保護者から強く求められている。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし							○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし							○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100		
							<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>			
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	6.14	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			